

時代遅れの防災なんていけない。

男女の視点に立った

「防災」の実践を

今や、「防災」に女性の視点が反映されていることは必要不可欠となっている。町でも、条例や今年春に策定した第3次日野町男女共同参画プランにおいて、男女双方の視点を取り入れた防災体制の整備を訴えている。そんな中、日ごろから女性の視点に立った身近な「防災」の取り組みを実践している日野町赤十字奉仕団の2人に話を聞いた。



にしむら
西村かすみ

日野町黒坂。日野町赤十字奉仕団代表。「日ごろから家族での話し合いや避難場所を決めておくことも大切です」

ふなこし のぶこ
船越 伸子

日野町黒坂。日野町赤十字奉仕団、日本赤十字社鳥取県支部指導講師のほか、防災ボランティアリーダーも務める。

「赤十字奉仕団の皆さんは日ごろから防災意識の向上のためさまざまな啓発活動をされていますよね。」

西村 そうですね。町消防団の出初式や防災訓練への参加、ふれあいまつりでも炊き出しを行っています。

船越 そのほかにも、子どもたちに防災ずきんを贈り、いざという時の備えの大切さを伝えてきました。防災力を高めるためには、さまざまな活動を通して、災害に備えることが大切だと思います。

「東日本大震災では、避難所運営や被災者支援において、女性の視点が反映されていないことが課題として生じました。皆さんは、日ごろの活動を通し、今後どのようなことが必要だと感じていますか。」

船越 やはり女性の視点も取り入れ、女性や子育て中の人、高齢者、障がい者などのニーズを反映した体制を整えていく必要があります。例えば、黒坂地区では、災害時

などには、私たちも黒坂地区自主防災委員会の皆さんと共同で独居世帯など要配慮者の見回りを行っています。ほかにも近所同士の声かけなど、日ごろから助け合いの仕組みづくりを進めてきました。

「災害時や復興時、どうしても女性に家事的な作業が集中するなどの課題が明らかになっています。」

防災に限らず、身近なところから固定的な役割分担意識を無くしていくことが求められています。」

西村 例えば、「支え愛マップ」づくりなどを通して、住民同士のコミュニケーションや地域の支え合いづくりが、将来、とても重要になってくると思います。

船越 地域によって防災意識に温度差があるのが現状です。まずは、地域づくりやきずなづくりに積極的に取り組んでほしいですね。

「明日からでもできる防災対策を教えてください。」

船越 まずは、「非常持ち出し袋」の常備を心がけてほしいですね。この中には、防災ずきんをはじめとして、貴重品、食料品、医薬品、日用品などが入っています。

女性の視点から備えておくこと便利なものとしては、笛（ホイッスル）や携帯トイレなどでしょうか。特に、男性は「トイレ問題」には疎いです。黒のビニール袋はトイレがない時にも使えるなど使い勝手が良いので、入れておくと便利です。

西村 住まいの中の危険個所を把握しておき、家具が倒れたり、物が落下したりしないよう、家の中を安全地帯にしておくことも大切です。いつ災害に見舞われるかわかりません。日ごろの備え、心構えをお願いします。

みんなで作る！

消防・防災に関する各種補助金制度のご案内

安心安全で住みやすい地域づくり

町では、自治会を対象として補助金を交付する、以下の制度を設けています。ぜひ、ご活用ください。なお、制度の利用には申請が必要です。詳しくは、役場総務課（電話 72-0331）までお問い合わせください。

① 消防用施設等整備費補助金交付制度

- 内 容** 消防のための施設などの整備に必要な費用に対し、補助金を交付します。
- 補助金額** 必要な費用の2分の1（上限5万円）
- 補助対象経費** 対象となる消防用施設等の整備は、以下のとおりです。
- (1) 消防用ホース（付属する備品含む）および噴霧ノズルの購入
 - (2) 消防用ホース、噴霧ノズルその他消火に必要な器具を格納する格納庫の設置または修繕
 - (3) 防災資機材の導入

② LED 防犯灯設置補助金交付制度

- 内 容** 自治会で維持管理する従来型防犯灯のLED防犯灯への交換およびLED防犯灯の新設に必要な費用に対し、補助金を交付します。
- 補助金額** 1基あたりの設置費用3万円（消費税抜き）を上限として、設置費用の4分の3
ただし、補助対象となる防犯灯は、1年度につき、1自治会あたり10基が上限です。
- 補助対象経費** 対象となる消防用施設等の整備は、以下のとおりです。
- (1) 従来型の防犯灯のLED防犯灯への交換
 - (2) 自治会の維持管理するLED防犯灯の新設

③ 除雪機購入補助金交付制度

- 内 容** 除雪機購入に必要な費用に対し、補助金を交付します。
- 補助金額** 必要な費用の2分の1（上限25万円）
ただし、1つの自治会などにつき、年度あたり1台が上限です。
- 補助対象経費** 対象となる消防用施設等の整備は、以下のとおりです。
- (1) 除雪機（本体）
 - (2) 除雪機本体の専用付属品
 - (3) 除雪機本体の専用付属カバー
 - (4) 購入の際に発生する運搬・設定手数料

避難所運営ゲーム（HUG）貸し出します

「もしもの時」に備え 地域のきずなを深めよう

避難所運営ゲーム（HUG）とは、多くの人が集まる避難所を開設し、運営をする場合にどのようなことが起こるのか、またその出来事にどのように対応すればよいかを疑似体験するゲームです。

参加者は5～6人ほどの班に分かれ、班ごとにカードと避難所の図面、掲示板を使ってゲームを行います。カードに書かれた内容を読み上げ、そこに書かれた避難者や、さまざまな出来事に対応していきます。

ゲームを通して、参加者は互いの考え方を理解し合いながら、自由に意見を出し合い避難所運営について理解を深めていくことを目的としています。誰でも参加できるゲームです。自治会での防災訓練などでご活用ください。



- <ゲーム名> 避難所運営ゲーム（HUG）
 - <貸出内容> ゲーム一式
※用意が必要な物は特にありません。
 - <貸出費用> 無料
 - <所要時間> 約3時間
 - <参加人数> 5～25人が目安
- 貸し出しおよび問合せは…
役場総務課（電話 72-0331）までご連絡ください。